

プランクトン調査（播磨灘）の結果をお知らせします。

【概況】

- ・2 サンプルからシャットネラ・オバータが少数観察されました。
- ・コシノディスカスが広範囲で確認されましたが、昨日実施した備讃瀬戸よりは少ないようです。
- ・その他の珪藻類は低密度でした。

表：有害・有毒プランクトン調査結果（単位：細胞/mL * コシノディスカスを除く）

調査地点	水深 (m)	シャットネラ属	カレニア・ ミキモトイ	アレキサンドリウム属	ユーカンビア・ ゾディアクス	コシノディスカス・ ワイレシー (単位：細胞/L)
KA23	0	0	0	0	0	1,275
	10	0	0	0	0	1,750
	B-1	0	0	0	0	750
KA1	0	0	0	0	0	950
	10	0	0	0	0	1,230
	B-1	0	0	0	0	1,125
KA2	0	0	0	0	0	700
	10	0	0	0	0	1,125
	B-1	0	0	0	0	1,730
KA3	0	0	0	0	0	100
	10	0	0	0	0	75
KA4	0	0	0	0	0	40
	10	0.7	0	0	0	75
	B-1	0	0	0	0	30
KA5	0	0	0	0	0	425
	10	0.3	0	0	0	100
KA6	0	0	0	0	0	90
	10	0	0	0	0	300
KA7	0	0	0	0	0	400
	10	0	0	0	0	150
	B-1	0	0	0	0	110
K4	0	0	0	0	0	225
	10	0	0	0	0	260
	B-1	0	0	0	0	100
T3	0	0	0	0	0	360
	10	0	0	0	0	675
屋島湾	0	0	0	0	0	1,100
	5	0	0	0	0	680

* コシノディスカスについては試水を濃縮して計数し、1L あたりの細胞密度に換算した値を記載しています。

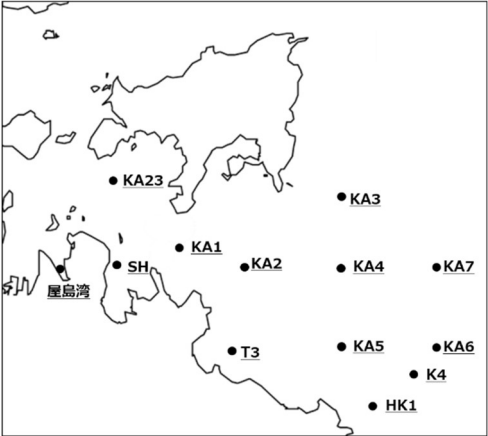
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当: 吉田・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課総務・豊かな海づくりグループ(担当: 澤田・秋山) 電話 087-832-3474

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：浅海定線調査事業）



* 調査定点 SH および HK1 は夏季（赤潮発生時期）の臨時点です。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	－	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	－	50 細胞/mL